

岩手県職労

月2回刊=1689号
2026年1月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

2026 自治労県本部春闘討論集会

働き続けられる職場を「春闘」からしくみよう!

1月9～10日、自治労県本部春闘討論集会在盛岡市内で開催され、県職労から33人が出席した。春闘とは、民間の労働組合が産業別にまとまり、賃金等の労働条件改善の交渉を行うもの。公務員労働者も一緒にまとめていく必要があること等について学習したうえで、春闘からの要求交渉について意思統一した。本集会以起点として、2026春闘から確定闘争までの通年の取り組みを進めていく。



▲自治労県本部春闘討論集会以講演する新潟県職労新潟支部川崎雅子副執行委員長

▲自治労県本部春闘討論集会以講演する新潟県職労新潟支部川崎雅子副執行委員長

基調講演として、新潟県職労新潟支部の川崎雅子副執行委員長が「ハラスメント対策について」と題した講演を行った。川崎さんは、県立病院で看護師として勤務する傍ら、「上級ハラスメントマネージャー」「アンガーマネジメントファシリテーター」として、全国各地で講演等の活動を行っている。

講演の結論として、ハラスメントを受けていると感じたら、一人で抱え込まない。日時、内容等ができる限り具体的に記録しておく。証拠を記録する。メール、手紙、日記、メモ(目撃者、周囲にいた人など)職場の同僚等の身近な信頼できる人に相談する。退職も視野に考える。「逃げるが勝ち」という言葉もあるように自分の健康を守る。(放射線防護の3原則は、遮へい、距離、時間)といった対応を考え、まず労働組合へ相談しようとの呼びかけがあった。ただし、労働組合はハラスメントをジャッジする機関ではなく、当局のチェックとモニタリングを行い、安全配慮義務を武器とした管理者の責務追及が役割と付言された。

その後、自治労県本部の佐藤書記長から春闘方針案が提起された。

県職連合第39回・県職労第135回臨時大会

日時 2026年2月28日(土) 13時
場所 盛岡市勤労福祉会館

県職労分科会

県職労分科会では、拡大中央闘争委員会及び支部代表者会議の位置づけで、春闘要求をはじめ当面する諸課題について討論した。



▲自治労県本部春闘討論集会全体会のようす

また、新たな要求事項として、
・勤勉手当「育休応援加算」の制度・運用改善。
・リフレッシュ(キャリアアップ)休暇の取得可能期間(2年)の拡大及び60歳超職員の対象への追加。

・聴覚障がい職員への電話リレーサービス導入等の合理的配慮等を盛り込むことを提起し、改善意見の集約を行った。
②公舎課題
管財課が調整を進めている公舎料等の改定及び沿岸部(釜石、大船渡、岩泉)への借上公舎導入について、県職労に説明があった事項を共有のうえ、今後の改善要求の方向性について協議した。
③組合加入促進
今年度の県職労への加入状況の現状について説明したうえで、2026年度の新採用職員加入促進のための取り組みの案を提起し、支部代表者からの改善意見の集約を行った。

第25回自治労青年女性中央大交流集会

宮城県仙台市で開催されます!

全国の仲間と労働組合を通じた交流と職種ごとの職場実態討論を通じた学習を行う第25回自治労青年女性中央大交流集会在下記の日程で開催されます。各支部青年・女性組合員の積極的な参加をお願いします。

日程	7月31日(金)～8月2日(日)
場所	宮城県 仙台市
会場	全体集会会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール 分散会会場 TKP ガーデンシティ-PREMIUM 仙台西口
集会規模	1,200人
参加要請	県職労から11人程度(青年婦人部員)
第1次集約	2月下旬
最終集約	3月下旬



▲第24回自治労青年女性中央大交流集会1日目の全体集会のようす(山梨県山中湖村)



▲第24回自治労青年女性中央大交流集会の岩手県からの参加者(県職労からは5人)

※熱中症ガイドラインの改正に伴い、全体集会含め全て屋内開催となります。

▼選挙は、私たちが有権者が政治に意思表示する大切な機会であり、ある程度の間や費用は「民主主義のコスト」として必要なものである。しかし、首相が自らに有利な時期を狙って解散を仕掛けるという今のあり方は、私たちが有権者の民意を表す手段として妥当なのか、大いに疑問がある▼国政は一見、遠い世界のように感じられるが、私たちが自治体職員の働き方は、やはり政治と密接につながっている。選挙が行われる以上、棄権することなくしっかりと意思表示しよう。

第五世代
1月23日に衆議院が解散され、1月27日公示、2月8日投票で衆議院議員総選挙が行われている。組合員の中にも急な選挙事務で多忙を極めている方がいる。敬意を表したい▼今回の総選挙は、ただでさえ大部分の自治体職員が多忙な時期に、真冬の厳しい気象条件の下、極めて短い期間で実施されているものであり、全国的に大きな批判の声が上がっている。大阪府ではこれに知事選挙が加わり、大阪市ではさらに市長選挙も加わっている。自治体職員の働き方はほとんど顧みられていないと言わざるを得ない

青年婦人部

独自要求書提出へ！

各支部で意見交換会を実施

青年婦人部では2月5日に知事あてに独自要求書を提出することとしている。また、要求書提出後に人事課との意見交換も行うこととしている。



▲農研センターで行われた意見交換会のようす

要求書作成にあたり、本部青婦部役員で案を作成し、より実態に即した要求書となるよう1月上旬から下旬にかけて各支部で意見交換会や意見集約を行い、職場の実態や生活について意見等を出してもらい、現在、本部青婦部で意見を集約している。

実際に各支部での意見交換会が出された声として、「庁舎や公舎を修繕するための予算の確保をしてほしい」「特殊勤務手当がとんでもなく低い額で全く実態



▲花巻支部で行われた意見交換会のようす

に見合っていない」「全額超勤をつけるとお叱りを受ける」「月40時間超過勤務をしているのに職場から月40時間内に収めるよう指示がある」「会計年度任用職員の数について職場の頭数だけで数を決めるのではなく、職場や職員の実情などをしっかりと踏まえたうえで会計年度任用職員の数を決めてほしい」「残業ありきの業務量になっている。毎年災害対応等があり、本来の業務が後手に回る。災害に対応できるような人員体制をお願したい」「育児・産休職員がいる職場へのサポートだけでなく、育児時間や部分休業を取得している職員の配慮や職場へのサポートも要求書に記載してほしい」「人事異動内示が遅いことによる二重家賃の負担があった」「県の教育委員会が2月下旬には異動地区を知らされていると聞いた。私たち職員も異動地

区ぐらいいは3月1日に教えてほしい」「会計年度任用職員の雇用については、研究費の中からお金を出しているの、研究に使う費用を人件費に使っている」「施設機器について分析機器などの更新ができておらず研究センターと言いつつも全く最新の研究はできていない」「公用携帯が必要分配備されていないため私用携帯で農家さんや仕事相手と連絡を取っている。もちろん使用料は自己負担になるし、業務時間外にも連絡がくることもあるため、公

単組を越えた学習と交流

自治労県本部青年部女性部セミナー およびウィンタースポーツ交流会

1月17日に自治労県本部青年部・女性部主催のセミナーおよびウィンタースポーツ交流会が八幡平市の安比高原スキー場と周辺のホ



▲自治労県本部主催のセミナーのようす

テルを会場に開催された。県内から30人を超える青年女性が集まり、県職労からは、17人が参加した。

セミナーの部分では講演Iとして県本部青年部長の須藤開さんを講師に「労働組合の活動と自分たちができること」と題して、労働組合の年間の大まかな活動内容と青年女性の自分たちができることとして、「職場のオカシイを我慢せず「声」にだす」「仲間と集まる場をつくる」「基本組

織に介入してみる」などを学んだ。講演IIでは自治労共済推進本部岩手県支部の加藤悠河さんを講師に「ライフプランニングの疑似体験」と題して、自動車や結婚、教育などの主なライフイベントに参加者自身が掛けた金額を計算し、その金額を貯めるには毎月どのくらい貯めなければならぬのかも計算をした。また、共済制度のスケールメリットの部分では非営利による助け合いのしくみと仲間が多ければ多いほど良いという団体共済制度を推進する理由についても触れていた

だき理解を深めた。



▲ウィンタースポーツ交流会での記念撮影のようす

交流の部分は、単組を越えた交流とするために参加者をグループ分けしてスキー・スノーボード交流を行った。

今後も県職労青年婦人部として県内外で開催される集会や交流会に参加者を多く送り出す。

各支部で2026年「旗開き」開催！

2026年も運動前進に向け意思統一をはかるため、1月6日の花巻支部での旗開きを皮切りに、1月6日～15日までの期間において各支部で旗開きが開催された。山積みとなっている課題の解決や春闘勝利に向け、団結して全力で取り組もう。

1月7日に開催された県庁・盛岡支部の合同旗開きでは来賓として、及川隆浩自治労県本部委員長をはじめ、小西和子岩手県議会議員、野中やすし盛岡市議会議員、連合岩手盛岡中央地域協議会議長、平和環境盛岡紫波地区センター副議長、東北労働金庫盛岡支店支店長、こくみん共済coop岩手盛岡支所長、伊澤昌弘退職者会会長など、多くの来賓が駆けつけた。旗開き



▲県庁・盛岡支部合同旗開き (1/7)

ではお楽しみ抽選会も行われ、当選した組合員の歓声や当選しなかった組合員の悲鳴などが飛び交った。最後は佐藤嘉彦盛岡支部の団結ガンパローで2026年の運動前進に向け意思統一を図った。



▲二戸支部旗開き (1/14)



▲北上支部旗開き (1/14)



▲釜石支部旗開き (1/7)



▲花巻支部旗開き (1/6)



▲一関支部旗開き (1/15)



▲気仙支部旗開き (1/14)



▲宮古支部旗開き (1/8)



▲花巻支部(遠野)旗開き (1/7)



▲宮古支部(岩泉)旗開き (1/15)



▲久慈支部旗開き (1/14)



▲一関支部(千蔵)旗開き (1/13)



▲胆江支部旗開き (1/7)